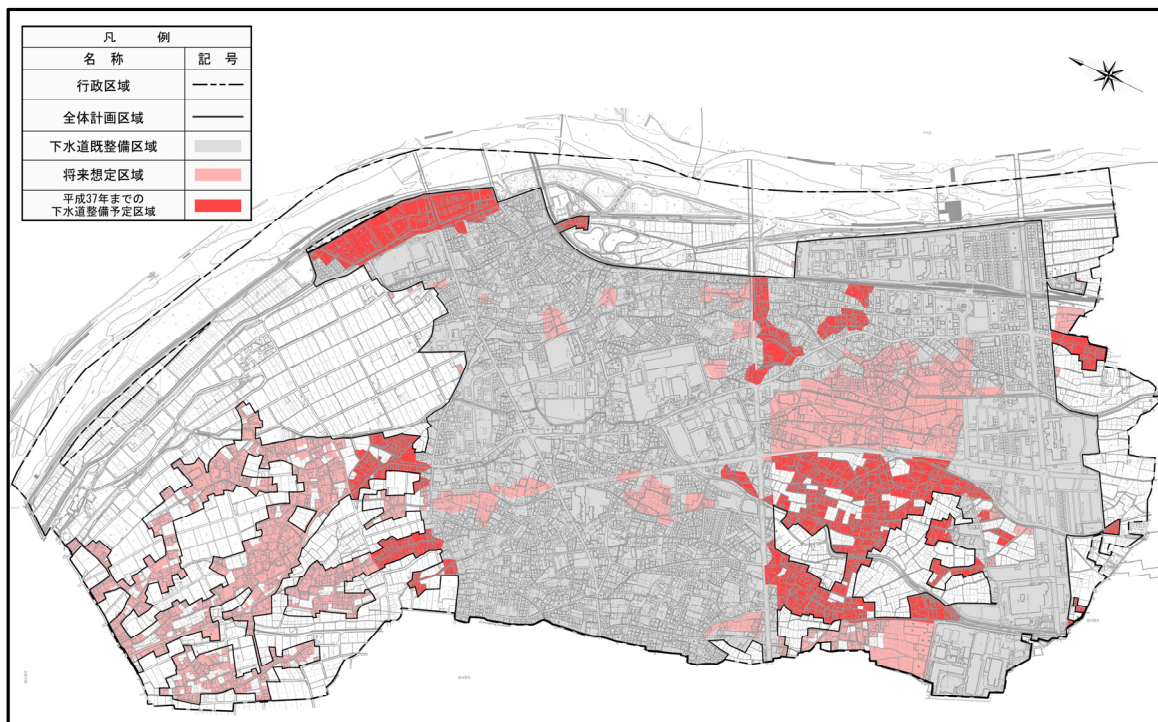


開成町アクションプラン

■目標年次 37年

■手法毎の汚水処理整備区域(区域図)



■整備計画

①整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
施設整備	下水道	未整備地区の整備									
	浄化槽	浄化槽設置整備事業									
実行メニュー	下水道	期間短縮手法の実施									
	浄化槽	合併浄化槽への転換支援策									

②目標値及び概算事業費等

		全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他	備考 (早期概成手法の内容)
					個人設置型	市町村設置型		
整備手法	整備人口(人)	19,200	15,700		3,500			◆下水道 ・曲管を使用し、道路線形に合わせた施工をすることでマンホールを省略。 ・マンホール間隔の延長、小型マンホールの採用によりコスト縮減と工期の短縮を図る。
	整備面積(集合処理分)(ha)	292.4	292.4					
目標値	汚水処理人口普及率(%)	100.0	81.8		18.2			
	整備率(%)		100.0					
計画水量(m ³ /日:日最大)		9,600	7,850		1,750			
計画汚泥量(t/日)		5.4			5.4			
概算事業費	総建設事業費～H28(百万円)	8,150	8,150					◆浄化槽 ・広報誌等を利用し、合併浄化槽を設置する際の補助金制度をPR。 ・説明会を実施し、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を推進。
	期間事業費H29～H37(百万円)	2,488	1,511		977			
	年間維持管理費(百万円/年)	154	44		110			
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)		129.6	96.2		279.1			
実行メニュー	期間短縮手法の実施		○					
	合併浄化槽への転換支援策				○			